



高校生が届ける敦賀のワクワク

フリーペーパーで魅力発信

敦賀のまちで育ち、敦賀高校に通う高校生たちが、高校生ならではの視点やアプローチで地域活性化を目指している学生団体「地域活性化Youth」。昨年11月に設立されました。高校の授業の一環としての活動ではなく、敦賀のまちに対する思いから全て自分たちで地域の活性化に取り組んでいます。今回はそんな彼らに話を伺いました。

「敦賀のまちの魅力をもっと発信したい」がきっかけ

「地域活性化Youth」は敦賀高校に通う3年生7人で結成された学生団体です。コロナ禍により、普段より行事が少なく、学生生活もまちな静かだと感じていました。そんな中、授業で受けた探究学習を契機に、この敦賀をもっと変えたい、高めたいと思ったのがきっかけです。

そのためには、まず敦賀に住んでいる私たちがこのまちを好きになって、そして発信していくこと

が大事だと考えました。そこで取り組んだのが「フリーペーパーの作成」でした。

うまく進まないときもチームで一丸になって取り組み

フリーペーパーの作成が決まってから、ここまで順調に進んできたわけではありません。高校生ならではの課題もありました。

一つ目は、初めての取り組みであり、どこから手を付けていいかわからない。スケジュールはどうするかという問題。受験生であることから、ゴールを9月末に設定し、逆算してスケジュールを組んでいきました。

二つ目は、予算の問題。これは市役所にも相談し、「市民協働事業補助金交付事業」を活用することができました。

そして、最大の課題は新型コロナウイルス感染症による活動の制限でした。当初は、他校と連携した取り組みも考えていましたが、接触の機会を極力減らす必要があったた

す。

そこで、モデルを全て高校生にお願いしたり、写真も写真映えるような角度から撮ったりと工夫をしました。

10月上旬に発行予定のフリーペーパーは、約6千部印刷し、次世代を担う市内の高校生を中心に配布予定です。そのほか、公共施設などに設置する予定で、多くの人に、手に取ってもらえたらうれしいと思います。



発行予定のフリーペーパー TONKATSU

今回の活動を経て、どう生かしていくか、次にとつながっていくか

いろいろな人に話を聞くと「まちがこうなればいいな」という思いはあっても、いざ行動に移す人は少ないと感じまし

上段右：プレゼンをして、企画の方向性を打合せ。方向性を決める重要な工程です。

上段左：取材内容をもとに、フリーペーパーを校正中。チームで意見を出し合いながら進めます。

下段右：ブティックでの取材の様子。趣旨説明から始まり、段取りについて入念に打合せています。

下段左：商品を試着して、モデルを撮影。リラックスして臨んでいます。

取材や編集に当たっては、フリーペーパーの対象とした中高生を意識しました。中高生の心に届けば、そのご家族にも読んでもらえ、広がっていくと思ったからです。

次世代を担う若者たちに敦賀をもっと好きになってもらいたい

め、敦賀のお店を紹介する内容をメインに据えました。特にお店の方が発信したいことをまとめたいと思いました。そこからの活動は、チームで企画内容の検討、取材交渉、取材、そして、編集と手分けして進めました。

安心して暮らせるために 高齢者をまもる、成年後見制度



認知症などによって物事を判断する能力が十分でない方は、財産の管理や介護サービスの手続きを行うことが難しい場合があります。本人の権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法的に支援する制度が成年後見制度です。

成年後見制度の種類

法定後見制度とは すでに判断能力が十分でない方が対象で、本人の判断能力に応じて、援助者や援助できる内容が異なります。

任意後見制度とは あらかじめ自らが任意後見人となる方を選び、判断能力が低下したときに代わりにしてほしい内容を決め、公正証書により契約する制度です。

成年後見制度のフロー

法定後見制度

物忘れが出てきて、自分の判断が不安。



判断能力が不十分な方

時と場合により、判断がつかない。



判断能力が著しく不十分な方

自分ではほとんど判断できない。



ほとんど判断できない方

任意後見制度

今は元気で何でも自分で決められる。



判断能力が不十分になったら

もし、認知症になったら、その後の暮らしが心配だわ。



任意後見契約を
公正証書にて締結

親族などが家庭裁判所へ申し立て

【援助者】



※公正証書の作成や家庭裁判所への申し立てには、それぞれ費用がかかります。
※援助者に対する報酬額は家庭裁判所が決定し、利用者本人の財産から支払われます。
(任意後見制度では、任意後見契約時に取り決めた額となります。)

ポータルサイトのご案内

厚生労働省より、成年後見制度全般に関する情報が分かりやすく掲載されたポータルサイトが開設されています。ぜひご利用ください。

成年後見制度利用促進ポータルサイト

検索

またはこちらから ▶▶▶



制度の利用についてお気軽に相談ください

▶ 敦賀市地域包括支援センター「あいあい」

(担当地域 北・南・西・松原・西浦・東浦・東郷・中郷・愛発)

☎ 22-7272

▶ 敦賀市地域包括支援センター「なごみ」

(担当地域 栗野)

☎ 21-7530

▶ 基幹型 敦賀市地域包括支援センター「長寿」

(必要時、各地域包括支援センターと連携・協働して支援)

☎ 22-8181

最後に一言感想



代表 / 3年2ホーム
中野 紗良さん

自分だけではできなかったと思います。信頼できる素敵な仲間が集まりました。感謝がありません。

今回の活動が、そういった人たちの後押しをし、できることから取り組む人の輪が広がればいいなと思います。
今のメンバーは、みんな3年生で、進学先もばらばらです。これから、進学に向けての準備で活動できる時間は限られてきますが、この取り組みをフリーペーパーだけにとどまらせず、次の代にもつなげていくことが次の目標です。
私たちの活動をきっかけに、実際に行動できる若い人たちが増えることを願っています。
自分たちは今まで見えていなかった敦賀の魅力にたくさん触れることができ、いろいろなことも学べました。そして何よりも本当に楽しかったです。引き続き、敦賀の魅力を発信し続けたいと思います。



書記 / 3年2ホーム
田辺 知里さん

お店との交渉などを担当しました。今までしたことのない新しい経験ができたので今後の地域活性に活かしていきたいです！



SNS担当 / 3年2ホーム
杉本 茉祐佳さん

決められたことをただこなすのではなく、みんなの力やアイデアで考えて取り組んだので、高校生の枠を超えた実感しています。



SNS担当 / 3年3ホーム
那須 奏音さん

魅力を再発見するという視野が広がりました。改めて敦賀の良さを実感しました。



会計 / 3年1ホーム
藤村 然さん

一から自分たちで企画して取り組んだので、やり遂げる行動力が高まったと思います。



Staff / 3年1ホーム
山口 実華さん

計画的に進められたと思います。Goalを定めることでスケジュールを立てられるようになりました。



Staff / 3年2ホーム
大野 幸佳さん

積極性を鍛えられました。新しい自分を発見できたし、これからの活動にもつなげたいと思います。



TOPICS

Youthでは、Instagramを使った情報発信も行っています。チームカラーは、青。今後は、取材したお店を紹介していきます。動画を使った配信などにも力を入れていく予定です。今回作成したフリーペーパーも掲載していきますので、ぜひご覧ください。

学生団体Youth
「あの頃の青春」
youth_anoharu

